第十一講　『清波雑志』／文学史(1)

一　次の文章は、南宋の周煇（しゅうき）の作である。読んで問いに答えよ。なお、設問の都合上、一部訓点を省いたところがある。

(ア)「借書一瓻、還書一瓻」、後訛為「痴」、殊失忠厚気象。書非天降地出、必因人得之、得而秘之、自示不広、人亦(a)豈肯以未見者相假。唐杜暹家書、末自題云「清俸買来手自校。子孫読之知聖道。鬻及借人為不孝」。鬻為不孝、可也。借為不孝、過矣。然煇手抄書、(b)前後遺失亦多、未免往来于懐。因読唐子西「失茶具説」、釈然不復芥蔕。其説曰「吾家失茶具、(1)戒婦勿求。婦曰『何也』。吾応之曰『彼窃者、必其所好也。心之所好、則思得之、懼吾靳之不予也、而窃之、則斯人也、得其所好矣。得其所好、則宝之、懼其泄而秘之、懼其壊而安置之、則是物也、得其所託矣。人得其所好、物得其所託、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(イ)復何言哉』。婦曰『嘻、是(2)烏得不貧』」。煇亦云。

（周煇『清波雑志』による）

〔注〕○瓻――酒瓶。古代中国では「瓻」に酒を満たし書を借してくれたことへの謝礼とした。
○痴――「瓻」と発音が類似する。　○杜暹――唐（六一八～九〇七）の人。　○清俸――俸給。
○校――校定すること。　○鬻――売ること。　○懐――ここでは「心」と同じ。
○唐子西――北宋（九六〇～一一二七）の人唐庚。子西は字。
○芥蔕――胸につかえること。わだかまりとなること。　○靳――惜しむこと。

問一　傍線の箇所（1）「戒婦勿求」、（2）「烏得不貧」を、すべて平仮名で書き下せ。現代仮名遣いでよい。

（1）

（2）

問二　傍線の箇所（a）「豈肯以未見者相仮」、（b）「前後遺失亦多、未免往来于懐」を口語訳せよ。

（a）

（b）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　傍線の箇所（ア）「借書一瓻、還書一瓻」の「瓻」が、「痴」に変わって「借書一痴、還書一痴」となった場合、どのような意味になるか。三十字以内で記せ。

問四　傍線の箇所（イ）「復何言哉」は、唐子西のどのような考えに基づくか。四十字以内で記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五

（ⅰ）文中の杜暹、唐子西、唐子西の婦、およびこの文章を書いた周煇のうち、考え方の共通する二人をあげよ。

（ⅱ）二人の考え方の共通する点を、五十字以内で記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈講義動画中に使用します〉

『詩経』（←「五経」の一つ）
・黄河流域の北方文学
・中国最古の詩歌集
・孔子が編集したといわれている

『楚辞（そじ）』
・長江流域の南方文学の歌謡集
・代表的詩人＝**屈原（くつげん）**

『史記』
・作者＝前漢の**司馬遷**
・紀伝体の歴史書
・「紀伝体の祖」といわれる

『漢書』
・作者＝後漢の**班固（はんこ）**
・紀伝体の歴史書

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

『桃花源の記』

・作者＝東晋の＊**陶淵明**（**陶潜**）

＊田園詩人として老荘思想に影響を受ける

『文選』

・作者＝梁の**昭明太子**

・詩文集

『三国志』

・作者＝西晋の**陳寿**

『後漢書』

・作者＝南朝宋の范曄など

・「東夷伝」に日本に関する記述あり

『資治通鑑』

・作者＝宋の**司馬光**

・編年体で書かれた歴史書

『十八史略』

・作者＝元の曾先之

・編年体で書かれた歴史書

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十一講

①　「先生独（ノミ）不（ル）レ拝（ハ）、何（ゾ）也（ヤ）。」を、すべて平仮名（現代仮名遣い）で書き下し文にせよ。また、現代語訳せよ。

注　拝…お礼の拝礼。

②　「（衣食を整えるには十分な財産があるのに、さらに財産を増やして余財を作ることは）但教二子孫怠惰一耳。」の傍線部を書き下し文に改めよ。

③　「材（さい）（アル）者豈肯付二権勢一哉。」の傍線部を現代語訳せよ。

注　材…才能。

④　江淹や司馬長卿らの作品は、梁の時代の昭明太子によって編纂された詩文集に収められている。平安時代の日本でもよく読まれ、『枕草子』にも書名の見えるこの詩文集の名称を漢字で書け。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十一講】

〈模範解答〉

一

問一 （1）ふ〔つま〕をいましめてもとむる（こと）なからしむ。
（2）いずくんぞまずしから〔ひんなら〕ざるをえん（や）（と）。

問二 （a）どうしてすすんでまだ読んだことのない書物を貸してくれようか、いや、貸してくれない。
（b）写す前の書物と自分が写した後の書物では間違っていることも多く、いまだにその書物を貸すべきかどうか思い悩んでいる。

問三 書物を人に貸すのも、借りて返却するのも愚かな事だという意味。（三十字）

問四 物は価値を理解してくれる人のもとで、大切にされることが最も大事であるという考え。（四十字）

問五 （i）周煇と唐子西（順不同）
（ii）物は、それを本当に必要として大切にする人と共有すべきで、物に執着すべきではないと考えている点。（四十七字）

〈現代語訳〉

一

「書物を貸すにも一つの酒瓶、書物を返却するにも一つの酒瓶」、その後に（「瓻」と発音が似ていることから）間違って（「瓻（＝酒瓶）」が）「痴」の字となってしまったのは、とりわけ（書物を貸し借りする人々の）真心や親切な気持ちを損なうものになる。書物は天から降ってきたり地下から湧き出てくるものではなく、必ず人によって書物を入手し、入手してもこれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

を秘蔵して、自分から多くの人に見せようとしないならば、他人もまたどうしてすすんでまだ読んだことのない書物を貸してくれようか、いや、貸してくれない。唐の杜暹の蔵書には、その末尾に杜暹本人の言葉が記されている、「（この書物は）俸給で買い求め私自身が校定したものである。子孫はこの書物を読んで聖人の道を理解しなさい。（この書物を）売ったり人に貸したりすることは親不孝者とする」と。売った者を親不孝者とするのは、よいだろう。人に貸した者も親不孝者とするのは、言い過ぎである。しかし、私が自分で書物を書き写して、（写した）前と後とで間違っていることも多く、いまだに心に往き来するものがあるのを止められない〔＝そんな書物を貸すべきかどうか思い悩む〕。唐子西の『失茶具説』を読んだことで、迷いが解けて心がさっぱりして、もうわだかまりはなくなった。唐子西の説に言うには、「我が家の茶道具がなくなり、妻には（茶道具を）探さないように忠告した。妻が言うには『どうしてですか』と。私が妻に答えて言うには『茶道具を盗んだ者は、必ずその茶道具を気に入ったからである。気に入ったので、茶道具を手に入れたいと思い、私がその茶道具を惜しんで与え（てくれ）ないのを心配し、そこで茶道具を盗んだのである、こうしてその人は、自分の気に入った物を手に入れたのである。気に入った物を手に入れたならば、それを宝物とし、盗んだことが世の中に知られることを懸念してそれを秘蔵し、それが壊れることを心配してそれを大切に保管する、こうしてこの物は、保管されるにふさわしい場所を手に入れたのである。人は気に入った物を手に入れ、物も保管されるにふさわしい場所を手に入れた、もう何も言うことはないではないか』と。妻が言うには『ああ、これではどうして貧乏でないことがあろうか、いや、貧乏にしかならない』と」。私もまたそのよう〔＝唐子西と同じ〕である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説　第十一講

〔解説〕

① 訓点が付いているので、書き下し文は確実にできるはず。文末の「～何也。」は、「～（ハ）なんゾや」と読み、「～はどうしてなのか」という疑問の意味。

② 「但～耳」は、「ただ～のみ」と読み、「ただ～だけだ」という限定の意味。「教」は、ここでは主語が人間ではないので「おしフ」という動詞ではなく、使役の助動詞「しム」と判断する。使役の対象の「子孫」には「ヲシテ」の送り仮名を付ける。「のみ」は体言か連体形接続。よって、ここでは「～しむるのみ」となる。「ただ子孫を怠惰にさせるだけだ」ということ。

③ 「豈肯～哉」は、「あニあヘテ～ンや」と読み、「どうして進んで～しようか。いや、～しない」と訳す反語。

④ 文学史が必要な人は、本講座補足ページで学習した作品と作者は押さえておくこと。

〔解答〕

① せんせいのみひとりはいせざるは、なんぞやと。
〔現代語訳〕　先生だけお礼の拝礼をしないのはどうしてか、と。

② 但だ子孫をして怠惰ならしむるのみ

③ どうして進んで権力や勢力のあるものに付こうとするだろうか、いや、そんなことはしない。

④ 文選

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。